

安全データシート

除錆剤 RC-50

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------|---|
| 製品名 | RC-50 |
| 製品コード | JS-1101 |
| 製品の使用分類 | 除錆剤 |
| 製造会社 | 株式会社 潤 匠 〒223-0051 神奈川県横浜市港北区箕輪町2-12-38 TEL 045-563-8501 FAX 045-563-5795 |
| 作成者 | 株式会社潤匠 技術部 |
| 作成日 | 2015年 10月 15日 |
| 改定日 | 2022年 5月 16日 |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-----------|-------------------|-----|
| GHS分類 | | |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） | 区分4 |
| | 急性毒性（経皮） | 区分5 |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分1 |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | 区分3 |

記載なきGHS分類区分は区分に該当しない/分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H313 皮膚に接触すると有害のおそれ
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H335 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策
応急処置

P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡/保護面を着用すること。
P302+P305+P351 皮膚に付着したり、目に入った場合は
水で数分間注意深く洗うこと。
P301+P312 飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。
P370+P378 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
P403 換気の良い場所で保管すること。
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

貯蔵
廃棄

3. 組成及び成分情報

単一・混合物の区別
化学名
成分及び含有量
化学特性に関する情報

化学式又は構造式

混合物
水溶性混合調剤
りん酸、エタノール、水、その他
りん酸 CAS番号 7664-38-2
エタノール CAS番号 64-17-5
特定できない

4. 応急措置

一般的な措置
吸入した場合

飲み込んだ場合
目に入った場合
皮膚に付着した場合

気分が悪いとき、ばく露またはばく露の懸念があるときは医師に連絡すること。
被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。保温して安静に保つ。
気分の悪い時は速やかに医師の診断を受ける。
水で口内を洗浄し、無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受けること。
直ちに清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受けること。
多量の水で十分に洗い流した後、適切な薬剤で洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合は速やかに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
消火を行う者の保護

火災の場合は霧状水、泡、粉末を使用すること。
噴流水を消化に用いないこと。
適切な保護器具及び呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
環境に対する注意事項
二次災害の防止策

漏出防止、除外などの作業は必ず適切な保護具を着用すること。
漏出物の拡散及び土壌、水路、排水溝、下水道への流出を避ける。
漏出物を回収すること。
安全を確認できる場合は漏えいを止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

セクション8の暴露防止及び保護措置を参照し、人体との接触を避けること。
常温で取り扱い、夾雑物の混入に注意すること。
全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
取扱後は良く手を洗うこと。

保管

可燃物、酸化物との混触、加熱、衝撃を避けること。
換気が良く涼しい場所に密栓して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|--------|---|
| 管理濃度 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 日本産業衛生学会 1mg/m ³ (りん酸) ACGIH TWA 1mg/m ³ (りん酸) TWA 1,880mg/m ³ (エタノール) |
| 設備対策 | 排気/換気設備、洗眼、手洗い、洗顔設備を設ける。 |
| 適切な保護具 | 呼吸器の保護 必要に応じて呼吸用保護具を使用する。 手の保護 耐化学品で不浸透性の保護手袋 眼の保護 耐化学品用ゴーグルを推奨 皮膚の保護 長袖保護衣を推奨 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------|-----------------------|
| 外観 | 無色透明液体 |
| 臭い | りん酸臭 |
| PH値 | 1.5 ±0.2 at20°C |
| 引火点 | 該当しない |
| 蒸気圧/蒸気密度 | 該当しない |
| 比重 | 1.18g/cm ³ |
| 溶解 | 水に可溶 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------|
| 化学的安定性 | 製品は安定である。 |
| 危険反応の可能性 | 適正な取扱い、保管下では有害反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 沸騰 |
| 混触危険物質 | アルカリ、酸化性物質、アミン類、三塩化りん、塩化ホスホリルなど |
| 危険有害な分解生成物 | 過熱すると分解して燐化物有毒ガスを生成 |

11. 有害性情報

りん酸

| | |
|--------------------|--|
| 急性毒性 | 経口：ラット LD50 > 2,000mg/kg (区分4) 経皮：ラット LD50 > 3,500mg/kg (区分5) |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 皮膚刺激：ラビット 595mg/25h接触 重度症状 |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 目刺激：ラビット 119mg 重度症状 |
| 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) | ヒト及び実験動物に気道刺激性があるとの報告されている。 |

エタノール

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 急性毒性 | 経口：ラット LD50 > 5,000mg/kg (区分5) |
| 目に対する重篤な損傷/刺激性 | 区分2A-2B |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) | 区分3 (気道刺激性) |

12. 環境影響情報

| | |
|-------------|--------|
| 水生環境有害性（短期） | データなし |
| 水生環境有害性（長期） | データなし |
| 残留性/分解性 | 生分解しない |
| 移動性 | 液体 |
| その他の悪影響 | 排出規制 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-------|---|
| 廃棄方法 | 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。 |
| 容器/包装 | 容器は適切な方法で洗浄した後にリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|---------|---|
| 国際規制 | 陸上、海上、航空輸送：非該当 |
| 国内規則 | 陸上、海上、航空輸送：非危険物 |
| 陸上輸送 | 確実に密栓され、漏れのないことを確認の上、容器破損、荷崩れなどないように輸送すること。 |
| 海上/航空輸送 | 腐食性物質：船舶安全法、航空法に従い、積載及び輸送を行うこと。 |

15. 適用法令

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 労働安全衛生法 | 法57条の2別表9 名称などを通知すべき有害物：りん酸 |
| 化審法 | 該当しない |
| PRTR法 | 該当しない |
| 消防法 | 非危険物 |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 水質汚濁防止法 | 排水基準を定める総理府令 |
| 下水道法 | 施行令 |

16. その他の情報

| | |
|----------|---------------------|
| 参考文献 | |
| 日本産業衛生学会 | 許容濃度の勧告 |
| 化学工業日報社 | 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ |

本データシートにおける略号は次の通りです。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| GHS | グローバル・ハーモナイズド・システム |
| PRTR法 | 特定化学物質の環境への放出に関する報告とその管理改善促進に関する法 |
| ACGIH | 米国産業衛生専門家会議 |
| CAS | ケミカルアブストラクトサービス登録番号 |
| TWA | 時間加重平均 |
| IARC | 国際がん研究機関 |

安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として、参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

したがって、本データシートは、安全の保証書ではありません。